

◇さかえ保育園の保護者の皆様へ

平成29年度に当園が受審した福祉サービス第三者評価の結果についてお知らせいたします。

※以下は、福祉サービス第三者評価機関である(株)学研データサービスが作成した評価結果の概要です。なお、評価結果の詳細につきましては、「とうきょう福祉ナビゲーションのホームページ (<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/index.html>) からご覧いただけます。

福祉サービス第三者評価結果概要

特に優れている点

地域の保育力向上のために、保育の専門性を地域に還元しています

園の食育への取り組みは区からも高く評価されており、保健所からの要請で活動方法を伝授し、写真撮影をしたり、実際に作成し活用している食育計画書を提出するなどの協力をしています。また、区私立保育園連盟を通じて「学生の進路相談をしてほしい」といった高等学校からの申し出があった時には、保育士養成校の教諭を招いて相談会を開催しました。保育ママ（家庭福祉員）との連携では、子どもの誕生日の月に園の誕生日会に招いていっしょに祝ったり、保育ママが休暇の時には代わりに保育を行うなどの協力をしています。

職員は自己研鑽を重ねるとともに情報共有を図って連携し、より良い保育に取り組んでいます

職員は、園内外の研修を通して自己研鑽を重ねています。また、月案討議など職員間での話し合いの場を設け、グループウェアを活用してパソコンで情報を共有し、職員間の連携を深めてより良い保育に取り組んでいます。今回の職員自己評価では100%の回答を得ることができました。内容についても、組織マネジメント、サービス提供のプロセス、サービスの実施それぞれの項目に、「できている」という回答を多く得ています。職員一人ひとりが専門職として自信を持ち、意欲を持って業務に取り組んでいる様子がうかがえます。

自然に親しみ、さまざまな体験を通して、子どもの園生活を豊かにしています

「健全なる精神は健全なる身体に宿る」という方針のもとに、3～5歳児は専門講師による体操教室を取り入れています。園の周辺は緑豊かな環境に恵まれ、天気の良い日は散歩を楽しんでいます。4、5歳児は、年間を通して近くの公園の「ポニー教室」に参加しています。また、5歳児は親元を離れて夏キャンプ、冬のスキー合宿を行っています。自然との触れ合いを大切に、さまざまな体験を通して、子どもの園生活を豊かにしています。

さらなる取り組みが期待される点

情報開示請求について、可能な範囲で応じる体制を検討されてはいかがでしょうか

個人情報の取り扱いについては「保育園における個人情報の取り扱いについて（ガイドブック）」と題したマニュアルが設置されており、職員の意識の高さもうかがえます。保護者には、写真の使用などについて同意を得ています。法人の「個人情報保護規定」には開示請求について示されていますが、保育記録には複数の子どもの情報が記載されることが多く、個人に特定した情報のみを取り出すことが困難で積極的な取り組みが難しい状況です。今後は、児童票など個人を限定した記録など、個人情報保護に支障のない範囲での体制作りをお勧めします。

保護者がこれまで以上に要望や不満を伝えやすい体制作りを検討されてはいかがでしょうか

保護者が苦情や要望を寄せるための窓口の利用方法について園のしおりに盛り込んでいます。「お気づきのことはどんな小さなことでも要望を寄せてほしい」といった言葉も示されており、保護者の声に積極的に取り組む姿勢がうかがえます。最近では保護者から苦情が寄せられることはなく、今回の利用者調査では「不満がない」という声が複数寄せられ、取り組みの成果が表れています。一方で、「不満や要望への対応」は他項目と比較して評価が低い結果です。今後はこれまで以上に遠慮なく申し出てもらえるよう、工夫されることをお勧めします。

職員一人ひとりの育成について、長期的な視点での計画作成を期待します

職員の育成は、人事考課制度の考課項目の達成度合いに基づいて行っています。考課項目に対する職員の自己研鑽や、全国私立保育園連盟が行っている保育カウンセラー講座の初級の資格を取ることを、園内での中級保育士（保育力）になる条件としており一定の目標が明確になっています。個別の育成は人事考課や園長面接で行っていますが、今後は人事考課とは別に、本人が目ざすことや習得したいスキル、園が求めることを長期的視点で設定し、人事考課の時期など定期的に達成度合いを確認し、次期の目標として計画につなげる取り組みをお勧めします。